

授業科目	栄養教育実習				単位	1		
履修	選択	関連資格	栄教一種免		ナンバリング	NT34126J		
開講年次	4	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	扇谷 恵美子							
授業概要	この実習では、履修した教職科目等の理論や技術を基礎に、学校での食の指導を推進するために、学校教育全般の組織、運営、学級経営を体験する。また、児童生徒の人格形成、身体の成長と発達に貢献し、教育における研究問題を発見するとともに、自己の望ましい教師像を形成し、食の指導に関わる教育実習生としての資質向上を目指し、教職に関する実践的、研究的能力や態度を養うことを目的とする。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食の指導における具体的な研究課題を発見できる。 2. 自己の望ましい栄養教諭像を形成する。 3. 教職に関する実践的・研究的能力を身につける。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	60	40	0	100	
知識・理解 (DP1-1)				5			5	
知識・理解 (DP1-2)				40	10		50	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)					10		10	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)				5	5		10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)					5		5	
態度(DP4-2)					10		10	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				10			10	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
教職課程で学んだ知識の全てを活用し、教育現場で応用・実践ができ、実習中に問題・課題を発見し、それを解決できる。また、教育実習において、栄養教諭としての指導力を深め、教育現場ではどのような栄養教諭が求められているかを理解し、自ら考えてそれを行動に結びつけることができる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 食の指導における具体的な研究課題を発見できる。 2. 自己の望ましい栄養教諭像を形成する。 3. 教職に関する実践的・研究的能力を身につける。 				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	<p>主に小学校において以下の内容について、栄養教育実習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校経営と学校組織活動 2. 児童生徒への個別的な相談、指導に関する実習 3. 学級活動および給食の時間における指導の参観と補助 4. 教科等における教科担任等と連携した指導の参観、補助 5. 給食放送指導、配膳指導、後片付け指導の参観、補助 6. 児童生徒集会、委員会活動、クラブ活動における指導の参観、補助 7. 食の指導に関する指導計画案、指導案の作成 8. 食の指導に関する教材研究と研修授業の実践 9. 校内における食に関する指導の連携・調整 10. 食の指導に関する家庭・地域との連携・調整の参観、補助 	実習	実習内容の定着を図り、実習期間中の課題解決に向けて自己の実習目標に到達する。	予習・復習：1日2時間×5日間
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				

15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	事前準備として、学習指導案の理解、作成方法、改善方法などを熟知し、教材研究も含めて事前学習を十分に行う必要がある。			
テキスト	学校栄養指導論 1・2 で使用した教科書、参考書等を活用する。学習指導要領等を活用する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	実習ノートを実習の事前指導時に配付する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	この実習では、成長期の子どもたちが対象となります。「子どもが好き」であると同時に、教育現場での厳しさにも耐えうる力を養っておく必要があります。教職関連科目や専門教育科目も十分に復習して、教師として自覚を持って実習に臨んでください。			
達成度評価に関するコメント	実習校の実習評価表・教育実習記録及びレポート、さらに実習報告会の内容を加味する。			

